

各 位

2022年11月17日
株式会社天夢人

東京の鉄道をエリア別に紹介
『東京の鉄道の謎を探る 歴史と文化とミステリー！』を発売

インプレスグループで鉄道・旅・歴史メディア事業を展開する株式会社天夢人(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:勝峰富雄)は、2022年11月17日に、『東京の鉄道の謎を探る 歴史と文化とミステリー！』を刊行いたしました。



東京の街の魅力でもある、構造物「鉄道」

1400万人の人口を抱える首都東京。その通勤・通学の足を支えるのが鉄道で、新幹線をはじめ、通勤電車、路面電車、モノレールなど様々な鉄道が走り抜けています。東京の街の魅力は、人類が築いた構造物なのかもしれません。

本書では、東京23区と多摩地区を計20カ所に分けて各エリアを走る鉄道を紹介、地域における鉄道の成り立ちと役割を紹介します。

■日々、進化を続ける東京。人々の生活を支える鉄道を20のエリアに分けて紹介

東京に住む人々にとって鉄道は身近な公共交通機関で、日本初の鉄道も新橋を起点にスタートしました。東京の鉄道の魅力をあらためて検証すべく、各エリアごとに鉄道の歴史をひもとき、「現在の東京の鉄道の姿」を写真で紹介します。

【千代田区のサンプル】



東京の玄関口・東京駅を擁する千代田区



個性豊かな鉄道橋も、千代田区の特徴のひとつ



千代田区に多く残る鉄道初期の遺構も紹介

【多摩南西部のサンプル】



多摩南西部

TAMANANSIBU
調布市・府中市・多摩市・日野市・八王子市・町田市

中央線と京王線を軸とした東京のベッドタウン

多摩南西部は、神奈川と連続を成しており、緑地帯、公園地帯などの緑地が広範囲に広がる。高低にはケーブルカーも設置され、多くの観光客で賑わう。

多摩南西部は、京王線と中央線を中心に、多摩川沿いに発展してきた。京王線と中央線は、多摩川沿いに走り、多摩川沿いに発展してきた。京王線と中央線は、多摩川沿いに走り、多摩川沿いに発展してきた。

八王子市は、多摩川沿いに発展してきた。京王線と中央線は、多摩川沿いに走り、多摩川沿いに発展してきた。京王線と中央線は、多摩川沿いに走り、多摩川沿いに発展してきた。



「多摩南西部」では調布市・府中市ほか5市を紹介

多摩南西部

八王子市、調布市、府中市、多摩市、日野市、八王子市、町田市

中央線と京王線を軸とした東京のベッドタウン

多摩南西部は、神奈川と連続を成しており、緑地帯、公園地帯などの緑地が広範囲に広がる。高低にはケーブルカーも設置され、多くの観光客で賑わう。

多摩南西部は、京王線と中央線を中心に、多摩川沿いに発展してきた。京王線と中央線は、多摩川沿いに走り、多摩川沿いに発展してきた。

八王子市は、多摩川沿いに発展してきた。京王線と中央線は、多摩川沿いに走り、多摩川沿いに発展してきた。

ケーブルカーなど鉄道の種類も個性的

多摩南西部

調布市、府中市、多摩市、日野市、八王子市、町田市

中央線と京王線を軸とした東京のベッドタウン

多摩南西部は、神奈川と連続を成しており、緑地帯、公園地帯などの緑地が広範囲に広がる。高低にはケーブルカーも設置され、多くの観光客で賑わう。

多摩南西部は、京王線と中央線を中心に、多摩川沿いに発展してきた。京王線と中央線は、多摩川沿いに走り、多摩川沿いに発展してきた。

八王子市は、多摩川沿いに発展してきた。京王線と中央線は、多摩川沿いに走り、多摩川沿いに発展してきた。

謎の側線

中央線と京王線を軸とした東京のベッドタウン

多摩南西部は、神奈川と連続を成しており、緑地帯、公園地帯などの緑地が広範囲に広がる。高低にはケーブルカーも設置され、多くの観光客で賑わう。

多摩南西部は、京王線と中央線を中心に、多摩川沿いに発展してきた。京王線と中央線は、多摩川沿いに走り、多摩川沿いに発展してきた。

八王子市は、多摩川沿いに発展してきた。京王線と中央線は、多摩川沿いに走り、多摩川沿いに発展してきた。

路線名	区間	開業年	種別
中央線	八王子 - 調布	1927	通勤線
京王線	八王子 - 町田	1927	通勤線
多摩線	調布 - 府中	1959	通勤線
日野線	日野 - 町田	1959	通勤線
八王子線	八王子 - 多摩	1959	通勤線
多摩川沿い線	多摩川沿い	1959	観光線
ケーブルカー	多摩川沿い	1959	観光線

多摩南西部の鉄道の歴史や「謎の側線」を解説

【目次】

- 千代田区 日本の鉄道の起点「東京駅」の赤レンガ駅舎が佇む
- 中央区 地上に鉄道の駅がない唯一の区
- 台東区 上野は乗り物文化の発祥の地
- 文京区／豊島区 日本鉄道が結んだ2つの区
- 葛飾区／江戸川区 荒川と江戸川に挟まれた下町風情の残る区
- 大田区 東京国際空港羽田を控える国際都市
- 足立区 東武鉄道発祥の地
- 目黒区 東急線が形成する住宅地
- 渋谷区 渋谷区は若者文化の発祥地
- 北区／荒川区 都電荒川線が形成する2つの区
- 世田谷区／狛江市 緑の多い住宅街を横断する路線網
- 中野区／杉並区 甲武鉄道により開かれた沿線
- 板橋区／練馬区 根幹を東武東上線と西武池袋線、都営三田線が形成する2区
- 墨田区／江東区 東京の新名所「東京スカイツリー」がそびえる
- 品川区 品川駅がなく、目黒駅のある不思議な区
- 港区 鉄道発祥の地「新橋駅」のある区
- 新宿区 東京都庁が置かれる東京の心臓部
- 多摩南西部 中央線と京王線を軸とした東京のベットタウン
- 多摩東部 多くの西武鉄道路線が走る地域
- 多摩西部 私鉄により敷設された多摩西部地区
- すばらしき東京の鉄道

【著者紹介】

結解学 (けっけ・まなぶ)

学生時代より、鉄道、旅、写真に魅せられ、全国の鉄道を撮り歩く。大学卒業後にプロの写真家となり、海外取材も100回以上に達する。主な著書に『写真で振り返るJRダイヤ改正史』（飛鳥出版・共著）、『テツは熱いうちに撮れ！』（交通新聞社）、『数字で斬る！新幹線』（ネコ・パブリッシング）ほか多数。日本写真家協会会員（JPS）

渡部史絵 (わたなべ・しえ)

2006年から活動。月刊誌『鉄道ファン』の連載や書籍等で鉄道の有用性や魅力を発信。著書は15作を数え、『超!探求読本 誰も書かなかった東武鉄道』（河出書房新社）や『地下鉄の駅はものすごい』（平凡社）、『関東私鉄デラックス列車ストーリー』（交通新聞社）、『譲渡された鉄道車両』（東京堂出版）など多数。

【書誌情報】

書名:『東京の鉄道の謎を探る 歴史と文化とミステリー！』

仕様:A5判 176 ページ

定価:1980 円(税込)

発売日:2022 年 11 月 17 日

全国書店、オンライン書店の Amazon などで発売中。

<https://amzn.to/3f8bqSs>

【株式会社天夢人】 <https://www.temjin-g.co.jp/>

2007 年設立。隔月刊雑誌『旅と鉄道(奇数月 21 日発売)』をはじめとする、鉄道・旅・歴史・民俗・カルチャーをテーマとした雑誌や書籍を発行し、人生を豊かにするための情報を発信しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:松本大輔、証券コード:東証スタンダード市場 9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社天夢人 担当:揚野

Tel: 03-6837-4680 / E-mail: info@temjin-g.co.jp

URL:<https://www.temjin-g.co.jp/>